

寒河江ダム クレストフラップゲートの 開閉点検を実施します

～ ダム放流設備の確実な作動に向けて ～

寒河江ダムのクレストフラップゲートは油圧起伏式ゲートで、ダム用としては国内で初めて採用された、東北では寒河江ダムでしか見られない珍しいゲートです。毎年出水期を迎えるこの時期に年1回の放流設備の開閉点検を実施しており、今回は以下のとおり点検を実施しますのでお知らせします。

1. 点検日時

平成30年6月15日（金） 9:00～15:00

2. 点検内容

クレストフラップゲート開閉点検

3. 見学について

<一般見学者の方>

- ・一般見学者の方は洪水吐天端からご覧いただけます。

<報道機関の方>

- ・報道機関の方はゲート下流部にご案内する予定ですので、事前にお知らせください。

4. その他

- ・天候や点検の実施状況により試運転日及び時間に変更されることがあります。
- ・ゲート開閉を行います、実際の放流は行いません。



ゲート下流側から

《発表記者会》山形県政記者クラブ

問合せ先

国土交通省 最上川ダム統合管理事務所

山形県西村山郡西川町大字砂子関158 TEL 0237-75-2311

技術副所長 さかもと 坂本 さとし 悟 (内線204)

保全対策官 すだ 須田 まさひろ 正浩 (内線401)

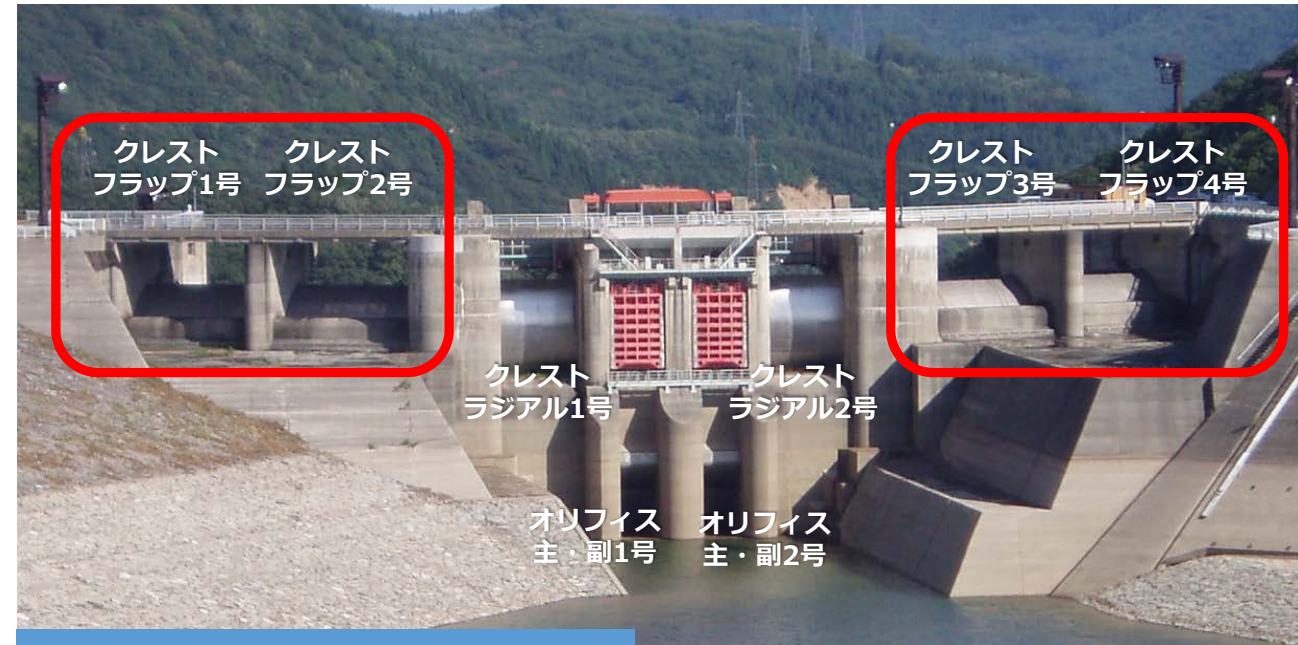
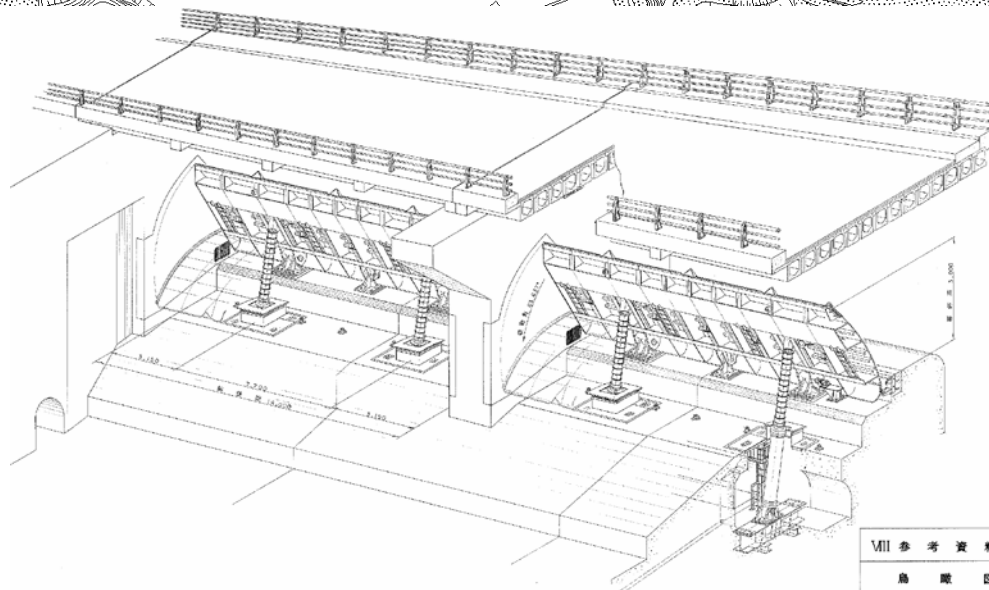
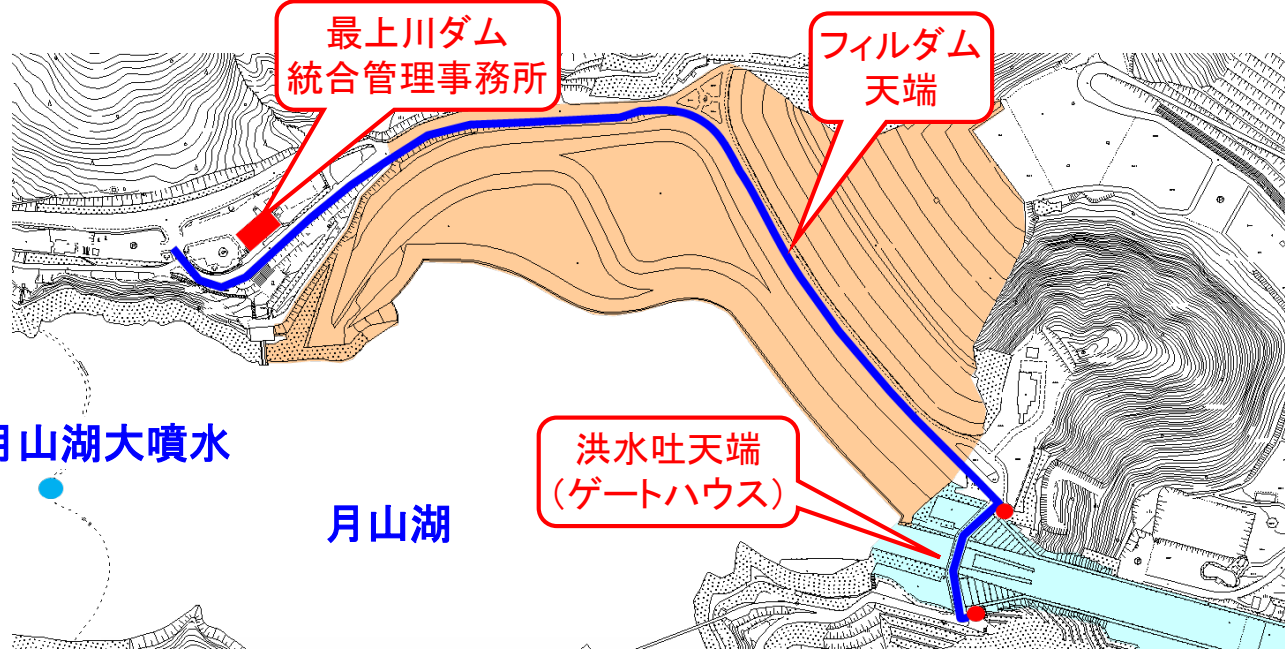
～出水期を前に放流設備の点検を開始しました～

最上川ダム統合管理事務所
寒河江ダム

クレストフラップゲート点検の様子は洪水吐天端などから自由にご覧いただけます

◆実施日時 クレストフラップゲート4門点検
6月15日(金) 9:00~15:00
※作業状況等により予定変更の可能性あり

◆目的 放流設備を常に良好な状態に保つために点検・整備を行います。定期点検では可能な限りの実負荷状態において試運転を実施し、動作状況、異常等が発生していないかの確認を行います。なお、実際の放流は行いません。



クレストフラップゲートとは

クレストフラップゲートは、ダムとして国内で初めて採用された油圧シリンダにより起伏、倒伏する構造のゲートです。東北では寒河江ダムでしか見られない珍しいゲート構造です。国内のダムにおいて採用されている例はほとんどありません。

ゲートの上部から水が越流する形であるため、ダムの水位を一定にし、またゲートを無動力で倒伏させることができ、洪水時のダムの安全を確保できます。非常用放流設備でありこれまで実際の放流(越流)は行ったことがありません。



ゲート：プレートガーダー式起伏ゲート
14m×3m 4門
開閉装置：背面突上式揺動式
油圧シリンダ 2本/門

倒伏時間 約10分
起立時間 約20分
1門あたりの点検時間 約1時間